

伝統に革新的な

アイデアを



問観光課
TEL 71・2053

「穂高天蚕系」を国内外のより多くの人に知ってもらおうプロジェクト「Silk Idea Competition-TENSAN-2024 in AZUMINO」。2月23日に県外の服飾系専門学校に通う学生が、天蚕の新たな魅力にせまる斬新な企画を提案しました。

安曇野の伝統に触れ発見した魅力

3回目をむかえた今回のプロジェクトには東京・愛知・大阪・京都・福岡の服飾系専門学校の学生10人が参加しました。

昨年8月に学生たちは、プレゼンテーションに先立ち3泊4日の日程で安曇野を訪れ、天蚕の歴史や特徴、課題などを学び、繭の収穫や糸の紡ぎ方を体験しました。さらに地元アーティストとの交流などを通じ、安曇野の魅力にふれ、ビジネスプラン作成のイメージを膨らませました。

安曇野での行程を終えた学生は、各々の学校に通いながら、2人一組のペアに分かれて、ビジネスプランの考えを始めました。



リモートで打ち合わせを重ね、お互いの考えをまとめた渾身のプランを2月23日、再び安曇野の地でプレゼンテーションしました。

新たな視点でポテンシャルを再発見

今回のプレゼンテーションでは、衣服にこだわらず、天蚕で作った希少アイテムが登場するオンラインゲームや生糸にならない部分を活用した布ナプキンなどのビジネスプランが提案され

ました。ビジネスプランの審査は、11人の審査員に加え一般来場者35人の投票により行われました。最優秀賞に選ばれた岡未咲希さん(上田女子服飾専門学校・3年)と須田美咲さん(名古屋モード学園・4年)のペアは、「制作過程で触れた安曇野の人の優しさ」と豊かな自然風景を作品に盛り込むことが出来た。結婚やジュエリーの持つイメージを天蚕と絡めプランが完成した。天蚕の魅力をもっと多くの人に届きたい」と取り組みを振り返りました。



ビジネスプラン ジュエリーに願いを込める 穂高神社

コンセプト 穂高神社を中心に天蚕製品やサービスを展開

提案概要
穂高神社とコラボレーションし、天蚕の独特な黄緑色と光沢を生かした限定のお守りジュエリーを販売する。購入時にはお清め、祈祷サービスを併せて展開し、安曇野への再来訪につなげる。普段から身に着けてもらえるファッションになじむアイテムとする。



写真左・・・岡未咲希さん(上田女子服飾専門学校(大阪))
写真右・・・須田美咲さん(名古屋モード学園(愛知))

ビジネスプラン -Tensan- with NATURAL

コンセプト 天蚕の力を借りて人の悩みを解決する

提案概要
資源を無駄なく利用したいとの願いから、天蚕系にならない部分を活用した、サステナブルで人に寄り添う商品の開発提案。
女性向け：生理用ナプキン、ランジェリー等
男性向け：天蚕系から抽出したAGA・ED治療サプリメント



写真左・・・三木茅乃さん(大阪文化服飾学院(大阪))
写真右・・・仲辻美宥さん(国際ファッション専門職大学(大阪))

ビジネスプラン AZUMINO アートプロジェクト

コンセプト 天蚕と自然とアートの調和

提案概要
天蚕の歴史や資料、アート作品などを展示する博物館と美術館を融合した施設を整備し、世代を問わず楽しめる空間を創造する。また天蚕を題材とした安曇野のアーティストによる作品制作や温泉施設等とコラボレーションした美容サービスや商品の提供・販売。



写真左・・・松本優美永さん(文化服装学院(東京))
写真右・・・木村泰淳さん(国際ファッション専門職大学(大阪))

ビジネスプラン Project-TENSAN

コンセプト 安曇野市デジタルコンテンツ化計画

提案概要
ゲーム制作会社と市がコラボレーション。オンラインゲーム上のフィールド「アヅミノシ」をゲームの舞台にして、天蚕等の安曇野に関するアイテムを登場させる。合わせてゲーム内に登場する天蚕アイテムを商品化し、実際にアパレルやグッズとして販売を展開する。



写真①・・・村田充生さん(文化学園大学(東京))
写真②・・・堤美音さん(香蘭ファッションデザイン専門学校(福岡))

ビジネスプラン cocoonfilm PROJECT

コンセプト 天蚕と農業を結ぶ水耕栽培

提案概要
天蚕で作られた膜で作物を包み込み、乾燥や温度・湿度をコントロール、室内で誰でも簡単、カジュアルに水耕栽培ができるキット「cocoon film」の製造・販売等の提案。



写真左・・・椋島那夏さん(香蘭ファッションデザイン専門学校(福岡))
写真右・・・西出彩さん(バンタンデザイン研究所(京都))

